

科学的知見の活用について

- 主な課題 (例)**
- ① 各地域・季節における詳細な O<sub>x</sub> 濃度・前駆物質濃度の状況解明
  - ② モデルの再現性向上 (O<sub>x</sub> 濃度、前駆物質濃度、気象)
  - ③ 国内・東アジア域の排出インベントリの精緻化 (空間・時間配分、排出係数、自然発生源、未把握発生源、実施体制など)
  - ④ 未同定 VOC のより精密な把握、精密な把握が困難な物質の O<sub>x</sub> 生成能の取り扱い
  - ⑤ 越境汚染による濃度上昇の評価
  - ⑥ O<sub>x</sub> 測定精度管理
  - ⑦ オゾン生成評価のための観測の充実 (VOC 常時測定、内陸部低人口密度地域での O<sub>x</sub> 連続測定など)

上記課題解決に資する観点から、科学的知見を以下のように活用していく

